

現地調査報告 (岩手県)

行程等

● 実施日

令和7年10月2日（木）

● 参加者

今村委員長、奥野委員、佐野委員、勢一委員、関委員、戸塚委員（計6名）

※ 復興庁及び岩手県庁の職員が随行。

● 訪問先

岩手県宮古市、釜石市及び大船渡市

● 行 程

- ① 宮古市役所
（被災者支援関係）
- ② 三陸鉄道 震災学習列車
（震災の記憶と教訓の継承関係）
- ③ 有限会社三陸とれたて市場
（水産業関係）
- ④ 株式会社いわて銀河農園
（地方創生関係）



結果概要

① 宮古市役所

<概要>

宮古市役所及び社会福祉法人宮古市社会福祉協議会の担当者から、東日本大震災に係る被災者生活支援事業の概要について説明を聴取し、意見交換を実施。

<主な内容>

- 東日本大震災による被災者の状況
- 被災者生活支援事業の取組の概要
 - ・ 宮古市社会福祉協議会：世帯ごとの戸別訪問、地域支援（住民主体の活動支援や支援団体の活動調整等）、「さ・わかフェ」の開催
 - ・ 宮古市：戸別訪問を行っていない世帯へのアンケート調査
- 令和7年度の被災者の見守り状況（岩手県・宮古市）
- 第2期復興・創生期間の後を見据えたアセスメントの実施



宮古市役所での意見交換



震災学習列車での説明状況

② 三陸鉄道 震災学習列車

<概要>

三陸鉄道がスタディーツーリズムとして運行する震災学習列車に乗車して発災時から沿岸部在住のガイドから説明を聴取し、意見交換を実施。

<主な内容>

- 三陸鉄道の概要、東日本大震災による被災状況、災害復旧スキーム、乗車人員の推移、外国人観光客の状況等
- 震災後における被災地の状況変化と復興が進む中で当時の状況を伝えて続けていくことの困難さ
- 東日本大震災を直接経験していない世代への記憶と教訓の伝承



震災学習列車の運行状況の視察

結果概要

③ 有限会社三陸とれたて市場

<概要>

新しい凍結技術を導入した先駆的な水産加工事業モデルの導入や国内に留まらず海外にも販路を拡大していること等についての説明を聴取し、意見交換を実施した後、鮮魚の加工状況を視察。

<主な内容>

- 震災による生産設備の流出と新たな水産業モデルのデザイン
- 地元で水揚げされる多様な魚の価値の再発見と自治体への貢献
- 震災をきっかけとした人的交流の増加がもたらす効果
- 沿岸部における人材の確保と育成の取組



三陸とれたて市場での意見交換

④ 株式会社いわて銀河農園

<概要>

大船渡市における移転元地を活用して整備された、トマト用の生産技術高度化施設を視察した後、通年の出荷や地元人材の安定的な雇用創出を実現していること等についての説明を聴取し、意見交換を実施。

<主な内容>

- 広面積の平坦地が確保できるという移転元地の特性や沿岸地域の気候を生かし、「地域に価値ある産業を創る」ことを目指した高収益性農業モデルの構築と地域への住民の呼び戻し
- 各種業務システムの活用や客観データに基づく施策立案・意思決定等の合理的な経営の実現
- 従業員向け勉強会の開催による人材の育成



いわて銀河農園での設備視察



いわて銀河農園での意見交換